

山名	堂満岳		山行名	個人山行		
ルート	JR比良駅—青ガレ—金糞峠—堂満岳—ノタノホリー—JR比良駅					
山行日	2018.4.30		天候	晴—薄曇り		
参加者	リーダー： 山下隆 サブリーダー：伊藤多恵子 女性：倉光展子 合計： 3 名					
大橋 堂満岳 1057 北比良峠 金糞峠 (青ガレ) 大山口分岐 イン谷口 ノタノホリー JR比良駅 ↑ N	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	JR比良駅	集		堂満岳頂上	着	13:00
		発	9:10		発	13:20
	イン谷口	着	9:20	堂満登山口	着	16:00
		発	9:25		発	
	アカレ登山口	着	10:30	JR比良駅	着	16:35
		発			発	
金糞峠	着	11:30		着		
	発	12:00		発		
<p>今年の春は花狂いだ。2月はいつまでも続く寒さの後、3月は急に暖かくなる。その為か桜の開花は平年より10日近く早く、他の花々もそれに続けと早かった。5月6日に国見山・ハライドでの満開のアカヤシオを計画していたが、現地のアカヤシオの研究者に開花を占ってもらい、当初の計画より12日も早い4/24日に変更した。好天が続く4月後半、この日だけは雨と風速13mとなり中止。来年のお楽しみとなった。逆に4月22日の比良山例会は季節外れが幸運を招き石楠花に出会えたと聞く。普通の陽気なら、5月の連休後半が石楠花の開花に一番よく、4-5年前の例会では北比良峠と金糞峠間は最高だった。国見山のアカヤシオの花登山を逃し、堂満岳の石楠花の花登山はひょっとしていけるのではと思った人が2人居て実行することになった。先週、比良に登った伊藤さんの情報では1週間後の4/30日もまだ花頃は大丈夫で、その上、彼女も同伴してくれるといううれしい話。他の方々にも声掛けしたが、急なことで、3人で行くこととなった。今日の「多恵子」さんと同じように人間は生まれながらに他人に何かをしてあげると自分もうれしという本能が備わっている・・・と話に夢中になり、比良駅で下車する予定が、二駅先まで乗り越えてしまい、車窓から見る堂満岳はドンドン遠くなる。引返し、1時間遅れのバスでイン谷口に着く。</p> <p>出発が遅れたので、アオガレ経由で金糞峠にとりあえず行き、そこで又コースを考えようということで出発。途中で水場があり、コースをよく知った伊藤さんは空のペットボトル2本につめた。スタート時の彼女のザックの軽さの理由がようやく解った。この道は登りにお勧めだ。金糞峠で昼食しながら、行き交う方々から情報をもらい、堂満岳に登るのがベストと判断する。すれ違う方々は満開の石楠花のおかげで幸せ顔はさらに満開でお互いに「素晴らしかったよ！」とあいさつする。我らものんびりと登る。堂満岳頂上の花舞台では毎年来ているという方が「今年が最高」とのことで、我らも納得した。昭文堂の冊子にはこの道は「ジャクナゲ」と書いてはないが、改定版には入れたいものだ。堂満岳からノタノホリーへの下りでは石楠花は少なくかつ荒れた難路でツリはなかったが、久しぶりの膝痛となる。石楠花だけでなく、春の花やブナの木等の緑のグラディエーションにも満足した。歩行2.2万歩。ヒヤリハットは幸いにナシ。</p>						